GREEN HOUSE

GAUDI

500万画素CMOSイメージセンサー搭載
SDメモリーカード対応デジタルビデオカメラ

取扱説明書

GHV-DV30SDS



SD TM

目次

はじめに

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。

本書について

当社では、事前の通知なしに同梱物や内容または技術上の仕様を変更することがあります。

本製品は、日本国内専用に製造、販売されています。日本国外ではご使用出来ません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

Copyright

録音・録画に際してのご注意

大切な撮影の前や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前に、ためし撮りを行い、正常に撮影や録音されている事を確かめてください。本製品および記録メディアの不具合で撮影や録音されなかった場合の保証につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

著作権にお気をつけください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は下記になっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性がございます。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

絵表示の例

⚠	△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
🛇	🛇記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
❗	●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

⚠ 警告（もし異常が起こったら）



● **煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、直ちに電源スイッチを OFF にしてください。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カスタマサポートに修理をご依頼ください。お客様による分解、修理等は危険ですから絶対おやめください。



● **内部に水や異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを OFF にしてください。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

⚠ 警告（もし異常が起こったら）

設置について

禁止	**● 電池やメモリカードは、乳幼児の手の届くところに置かない** 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ※ 万一、飲み込んだと思われるときは、直ちに医師にご相談ください。
禁止	**● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない** 本製品が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

使用について

水場での使用禁止	**● 風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない** 火災・感電・また製品の故障の原因となります。
水ぬれ禁止	**● 水が入ったり、ぬらさないようにする** 本製品は防水設計されておりません。ぬらさないように十分ご注意ください。内部に水が入ると、製品の故障・火災・感電の原因となります。
分解禁止	**● 修理・改造・分解はしない** 本製品のキャビネットを外したり､改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社カスタマサポートにご依頼ください。
禁止	**● 電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない** 本製品の温度の高い部分に、長時間直接触れていると、低温やけどの原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
禁止	**● 内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたり、濡らしたりしない** ショートや発熱により、火災・感電・製品の故障の原因になります。 ※ 本機の近くに液体の入った容器や金属物を置かないでください。 ※ 特にお子様にはご注意ください。
接触禁止	**● 雷が鳴り出したら本製品の金属部に触れない** 感電の原因となります。

禁止

● **乗り物を運転しながら使わない**

事故の誘発につながります。

※ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

⚠ 注意

設置について

禁止

● **温度が高い場所に置かない**

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、製品の破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

● **調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない**

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災·感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

使用について

注意

● **接続する機器の取扱説明書の指示に従う**

テレビ、オーディオ機器等の AV 機器に本製品を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は同梱の専用 USB/AV ケーブルを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけど等の原因となることがあります。

禁止

● **フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない**

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

禁止

● **レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない**

集光により、内部部品が破損して火災の原因になることがあります。

指示に従う

● **飛行機内 / 病院内で使うときは、航空会社 / 病院の指示に従う**

本製品が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になる場合があります。また、病院などで使うときも病院の指示に従ってください。

禁止

● **製品の上に重い物を載せたり、乗ったりしない**

倒れたり落下すると､けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・製品の故障の原因となることがあります。

禁止

● **内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする**

砂やほこりは、製品の故障につながります。

※ 浜辺などの砂やほこりの多いところでのスイッチ類の操作は十分ご注意ください。また出来るだけ SD カードの出し入れは行わないでください。

電池について

禁止

● **指定以外の電池は使用しない**

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

● **極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる**

間違えると、製品の故障や電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

● **長時間使用しない時は、電池を取り出す**

● **電池の［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない**

電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、直ちにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

● **充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない**

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について

● **お手入れの際は安全のために、電源を切った上電池を抜いてから行ってください**

感電の原因となることがあります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

本製品について

● 使用中はビデオカメラ本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気 / 電磁波が発生するところからはできるだけ離れて使う

● 携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機、スピーカーの上や近くで操作をすると電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。本製品が影響を受け、正常に動作しないときは、電池を一度外してからあらためて装着し直し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

● 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で映像や音声が乱れることがあります。

動作中はバッテリカバーを開けないでください

● 電源 ON 時にバッテリカバーを開けると本製品が故障したり、メモリカードを破損したりする恐れがあります。本製品の動作中にはバッテリカバーを開けないでください。開けるときには必ず電源を OFF にしてください。

置き場所についてのご注意

● 本製品が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
● 車内に長時間放置した場合、本体の変形や電池の破損、液漏れなどが発生する場合があります。
● 次のような場所への設置は避けてください。

・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

監視用など、業務用として使わない

- 本製品は業務用ではありません。長時間使うと内部に熱がこもり､故障する恐れがあります。

その他ご注意

- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると、液晶画面や本製品上面が多少熱くなりますが故障ではありません。

製品のお手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で５～６倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電池を外してからお手入れを行ってください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社が関与しないメモリカードとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

1 本製品について

本製品の特長や機能、付属品を確認します。

1.1 システム要件

ビデオカメラには、次の仕様を満たしたパソコンが必要です。

- Windows® XP(SP2), 2000(SP4), Vista (32bit 版)
- Intel® Pentium III 500MHz 以上の CPU
- 最低 256 MB の RAM
- USB 1.1 以上の USB ポート
- 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ
- 200 MB 以上の空きディスク容量

> **注意**
> USB 1.1 ポートを使用してのデータ転送は、USB 2.0 ポート使用の時よりも著しく低速になります。

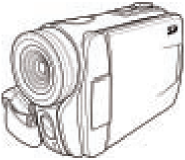
1.2 特長

ビデオカメラには、以下のようなさまざまな機能と特長があります。

- AVI・ASF 形式での動画撮影が可能
- 3 型ワイド TFT カラーモニタ搭載
- ズーム・マクロなど多彩な撮影機能
- カラー・モノクロ・セピアの 3 種類のカラーモード
- ダイレクトプリント対応の静止画撮影 (JPEG) 可能
- PC Web カメラ機能搭載
- USB マスストレージ機能搭載
- みんなで楽しめる TV 出力機能搭載

1.3 同梱品の確認

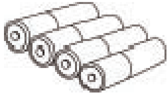
パッケージには、次の項目が含まれます。欠けている項目や壊れているものがある場合は、すぐに弊社カスタマサポートまでお問い合わせください。



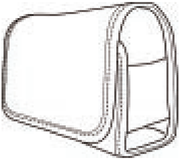
ビデオカメラ本体



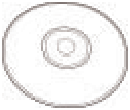
専用 USB/AV ケーブル



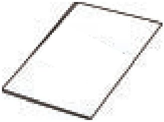
単 4 形アルカリ乾電池



ケース



CD-ROM(ドライバおよびアプリケーションソフトウェア)

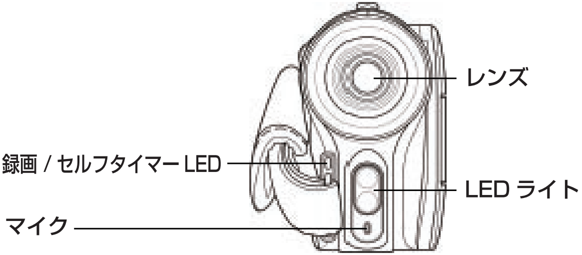


取扱説明書 (本書)

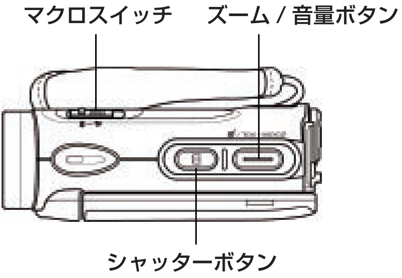
・1 年間保証書

1.4 各部のなまえ

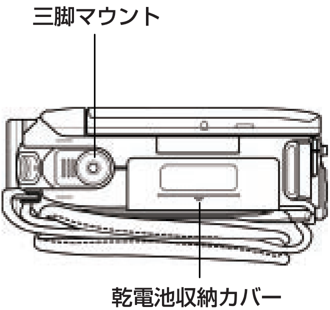
1.4.1　正面



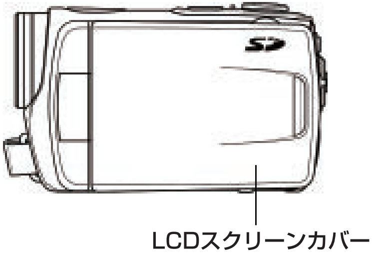
1.4.2　上面



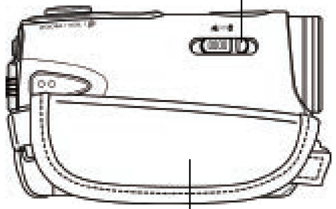
1.4.3　底面



1.4.4　右面

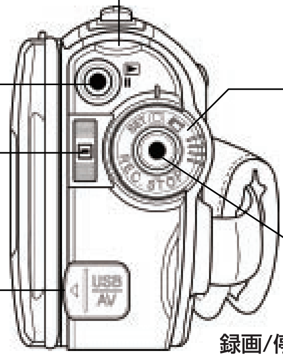


1.4.5　左面



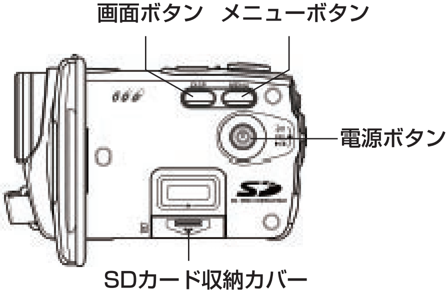
マクロスイッチ
ハンドストラップ

1.4.6　後面



電源LED
再生/一時停止ボタン
スクロールホイール
モードダイヤル
録画/停止ボタン
USB / AV アウトコネクタ

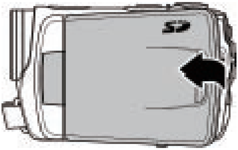
1.4.7　右中面



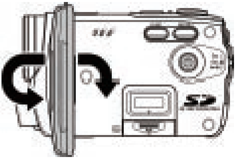
1.4.8　LCD 表示の調整

撮影するときは、LCD スクリーンカバーを 90°開き (①)、見やすい角度に調整してください (②③)。

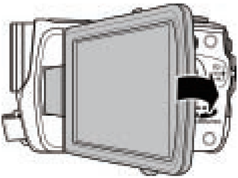
①



②



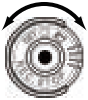
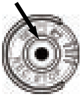
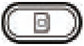
③

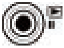


※裏返しに折りたたんで使用
することもできます。

1.4.9　各ボタンの機能説明

各ボタン機能の説明は、下表を参照してください。

ボタン	名称	機能
	電源 ボタン	このボタンを長押しして電源をオン / オフにします
 	メニュー ボタン	このボタンを押して、**メイン OSD メニュー**を表示します
	モード ダイヤル	このダイヤルを使って、動画、静止画、システム設定モードを切換えます。
	録画 / 停止 ボタン	**● 動画モード** ・録画の開始 / 停止をします **● 動画再生モード** ・再生を停止します。 **● 静止画モード** ・セルフタイマー切換え (5 秒 /10 秒 / オフ)
	スクロール ホイール	**● 静止画モード / 動画モード** ・上 / 下…露出補正 (EV) の調整 ・押す…フラッシュモードを選択 **● 静止画再生モード** ・上 / 下…表示したい静止画を選択 **● 拡大再生モード** ・上 / 下…画像の表示場所を移動します ・押す…移動方向を上下←→左右に切換えます **● 動画再生モード** ・上 / 下…表示したい動画を選択 ・押す…再生 / 一時停止します **● システム設定モード** ・上 / 下…メニューの選択 ・押す…メニューの決定
	シャッター ボタン	**● 静止画モード** ・写真を撮影します。 **● 動画再生モード** ・動画再生中に押すと、気に入った場面を静止画として切取れます。

ボタン	名称	機能
	マクロ スイッチ	スイッチを  位置に移動して、マクロ機能を有効にします。
	再生ボタン	このボタンを押して動画または静止画再生モードを表示します。 ● **動画モード** ・録画の一時停止 / 再開をします
	ディスプレイ ボタン	このボタンを 1 回押すと OSD アイコンがすべて表示されます。もう一度押すと OSD アイコンがすべてオフになります。さらにもう一度押すと LCD スクリーンがオフになります。
	ズーム スイッチ	● **静止画モード / 動画モード** ・右 / 左…ズームイン / ズームアウト ● **静止画再生モード** ・右…拡大再生モードを表示します。 ・左…保存した静止画のサムネイルを 4 画面表示します。もう一度押すと 9 画面表示にします ● **拡大再生モード** ・右 / 左…画像の表示倍率を変更します ● **動画再生モード** ・左…保存した静止画のサムネイルを 4 画面表示します。もう一度押すと 9 画面表示にします ・左 / 右…動画再生中、再生音量を調整

1.4.10　LED について

本製品の LED の動作と意味は以下の通りです。

LED	色 / 動作	意味
電源 LED (「1.4.6 後面」参照)	緑	電源がオンになっています
	緑 / 点滅	バッテリ残量が少なくなっています
	緑・赤 / 交互に点滅	動画、静止画撮影中です。
録画 / セルフタイマー LED (「1.4.6 前面」参照)	赤	動画撮影中です
	赤 / 点滅	セルフタイマーが動作中です 残り 2 秒になると、点滅が速くなります

2 準備

ビデオカメラの準備と使い方の確認します。ここでは、電源操作、乾電池の装着とSDカードの挿入、日付や時刻、言語の設定など、基本機能について説明します。詳細設定機能については、後の章を参照してください。

2.1 SDカードの挿入

ビデオカメラにSDカードを取り付けることにより、静止画、動画、またはその他ファイルの保存容量を追加できます。

本製品の動作仕様として、SD カードスロット内に SD カードが挿入されている状態においては動画モードの録画、再生、静止画モードの撮影､再生､音声モードの録音､再生が SD カードに対して行われます。本製品内蔵のメモリ（32MB、約13MBはシステムに使用）はSDカードスロットにSDカードが挿入されていない状態の時のみに有効になります。 また、パソコンとの USB 接続の際も上記同様の動作になります。

1. 本製品の電源が入っていないことを確認して、LCD スクリーンカバーを開き、SD カードの収納部カバーを開き ます。



2. 図のように、ラベル面を上にして、SD カードを挿入します。
（確実にロックするまで押し込んでください）



3. SD カード収納部のカバーを閉じます。

注意

画面上に黄色い鍵マークが表示されている場合、SD カードが書き込み禁止状態になっていますので、動画、静止画、音声の保存はできません。その際は、電源を切って一旦 SD カードを取り出してプロテクトスイッチを解除してから再度ご使用ください。

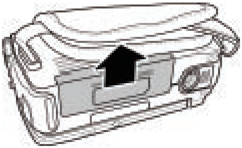
ご使用する SD カードは本製品でフォーマットしてください。
（→P53）

2.2 電池の装着

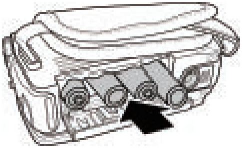
本製品は、単4形乾電池を4本使うように設計されています。付属の乾電池、または製造元または販売店が推奨する乾電池のみを使用してください。

> **注意**
> 電池は+ーの極性をよく確かめて装着してください。正しく装着されていない場合、故障・発火の原因となる可能性があります。

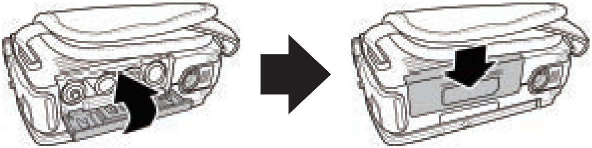
1. 乾電池収納カバーを開けます。



2. 図のとおり、乾電池を挿入します。



3. 乾電池収納カバーを閉じます。

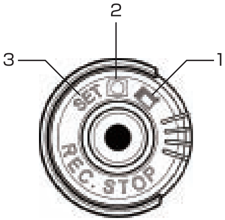


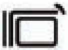
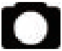
2.3 はじめて電源をオンにする

電源スイッチを長押ししてビデオカメラのオン / オフを切換えます。

2.4　モードの変更

モードダイヤルを操作することにより、**動画**、**静止画**、**システム設定**の3 つのモードに切換える事ができます。



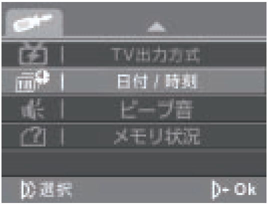
1		動画モード（動画の撮影、再生）
2		静止画モード（静止画像の撮影、再生）
3	SET	システム設定モード（各種設定）

2.5 ご使用前に

本製品のご使用を開始する前に、日付と時刻、および言語の設定してください。

2.5.1　日付と時刻の設定

1. ビデオカメラの電源をオンにして、モードダイヤルを**システム設定モード**まで動かします。スクロールホイールの上 / 下で**日付 / 時刻**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。



2. スクロールホイールの上下で、合わせる項目 (年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒) を選択し、スクロールホイールを押して選択します。



3. スクロールホイールの上下で値を調整し、スクロールホイールを押して決定します。

4. すべての項目を調整したら、スクロールホイールで  アイコンを選択・決定します。

2.5.2 言語の設定

1. ビデオカメラの電源をオンにして、モードダイヤルを**システム設定モード**まで回転します。スクロールホイールの上下で、**言語**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。



2. スクロールホイールの上下で、希望の言語を選択します。言語を選択した後、スクロールホイールを押して決定します。



2.6 動画を撮る / 再生する

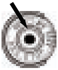
動画を撮影 / 再生するにはモードダイヤルを動画モードに切換えます。

2.6.1 動画を撮る

動画モード



録画の開始



録画 / 停止ボタンを押して録画を開始します。

録画中に録画 / 停止ボタンを押すと録画が停止します。

録画の一時停止 / 再開



録画中に再生ボタンを押すと録画が一時停止 / 再開します。

録画したファイルは？

録画したファイルは、本製品が独自のファイル名をつけて、自動的に SD メモリーカードに保存されます。

ファイル名は ***.AVI または ***.ASF となります。AVI,ASF 形式の詳細は **「4.1.4 ファイル形式」** (→P36) を参照してください。

注意

SD カードの保存可能領域がなくなると録画は自動的に停止します。

画質は、録画可能な時間に影響を与えます。

画質を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなり、録画可能な時間が減少します。

2.6.2　動画を再生する

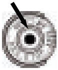
動画モードで**再生ボタン**を押すと、**動画再生モード**になり、最新の動画ファイルが LCD 画面に表示されます。

動画再生モード



動画の再生／停止





スクロールホイールを上下に動かし、表示する動画ファイルを選択します。スクロールホイールを押して、動画ファイルの再生を開始します。

録画 / 停止ボタンを押すと再生が停止します。

動画の再生の一時停止



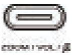
再生中に**スクロールホイール**を押すと、一時停止します。

再生音量の調節



動画ファイルを再生しているとき、ズームスイッチを左右に押して音量を調整します。

サムネイルの表示



再生停止中にズームスイッチを左に押すと撮影したファイルをサムネイルで表示することができます。1 回押すと 4 画面表示、2 回押すと 9 画面表示になります。

ズームスイッチを右に押すことで戻ります。

「**3.2.2 サムネイル機能**」（→P26）参照

動画の早送り / 巻き戻し



動画の再生中にスクロールホイールを上 / 下させることで、巻き戻し / 早送り再生が出来ます。
上に押すと巻き戻し、下に押すと早送りされます。
詳細は以下の通りになります。

巻き戻し再生※	上(長押し)	巻き戻しの速度が変わります。 押すたびに速度が x2/x4/x8 と変化します
早送り再生※	下(長押し)	早送りの速度が変わります。 押すたびに速度が x2/x4/x8 と変化します
スキップ	上(短く押す)	前の動画ファイルを先頭から再生
	下(短く押す)	次の動画ファイルを再生
通常の再生に戻る	中央を押す	早送り・巻き戻し再生中にスクロールホイールを押すと通常速度の再生に戻ります

※ASF 形式の動画ファイルは巻き戻し / 早送りはできません。

2.7 写真を撮る / 見る

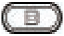
写真を撮る / 見るにはモードダイヤルを静止画モードに切換えます。

2.7.1 写真を撮る

静止画モード



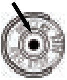
写真の撮影



LCD 画面を使って被写体を決定します。

シャッターボタンを押して静止画を撮影します。

セルフタイマー撮影



録画停止ボタンを押すことでセルフタイマー撮影ができます。

「1.4.9 各ボタンの機能説明」（→P7）参照

撮影したファイルは？

撮影して静止画ファイルは、本製品が独自のファイル名をつけて、自動的に SD メモリーカードに保存されます。

ファイル名は ***.JPG となります。

注意

砂時計アイコンが表示されている間は、撮影記録処理中です。砂時計アイコンの表示が消えるまで本体をしっかり固定して動かさないでください。シャッターボタンを押した直後に動かしますと、画像がブレる原因となります。

2.7.2 撮った写真を見る

静止画モードで**再生ボタン**を押すと、**静止画再生モード**になり、最新の静止画ファイルが LCD 画面に表示されます。

再生モード



見たい写真の選択



スクロールホイールを上下に押して静止画を選択します。

サムネイルの表示



ズームスイッチを左に押すと撮影したファイルをサムネイルで表示することができます。1 回押すと 4 画面表示、2 回押すと 9 画面表示になります。

ズームスイッチを右に押すことで戻ります。

「**3.4.2 サムネイル / ズーム機能**」（→P31）参照

写真を拡大して表示





ズームスイッチを右に押すと拡大再生モードに入ります。

拡大再生モードではズームスイッチで倍率変更、スクロールホイールの上下で表示する場所を動かせます。表示場所の移動方向はスクロールホイールを押すことで切換えられます。

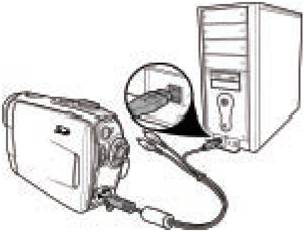
録画 / 停止ボタンを押すことで、静止画再生モードに戻ります。

「**3.4.2 サムネイル / ズーム機能**」（→P31）参照

2.8 パソコンに接続する

ビデオカメラ本体を**付属の専用 USB/AV ケーブル**でプリンタまたはパソコンに接続する事によって SD メモリーカードリーダ機能、また付属 CD-ROM よりドライバをインストールすることにより PC Web カメラ機能を使用することができます。

詳しくは「**3.5.1 PC Web カメラ機能を使用する**」（→P32）をご確認ください

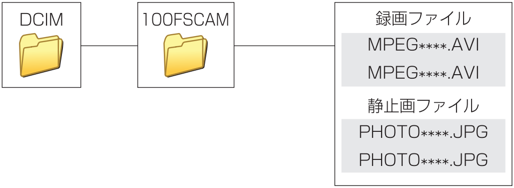


2.8.1　USB マスストレージ

本製品は、**USB マスストレージ機能**に対応しています。

したがって、本製品を マスストレージデバイスとして扱うことができます。カメラを接続していると、Windows エクスプローラに、カメラのメモリまたはインストールされている SD/MMC カードがストレージとして表示されます。ファイルは、通常のディスク操作と同じ方法でドラッグアンド ドロップできます。

SD メモリーカードのフォルダ構成は下図のような構成となっています。

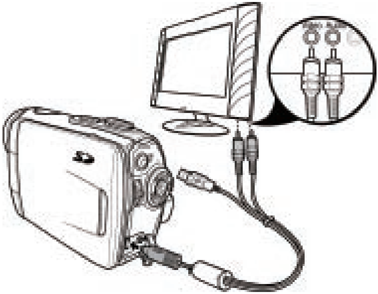


**** には番号が入ります

2.9　TV に接続する

図に示すように、**付属の専用 USB/AV ケーブル**で AV 機器にビデオカメラを接続します。

AV 機器に接続することにより、AV 機器をビデオカメラの LCD ディスプレイの代わりとして使用することができます。



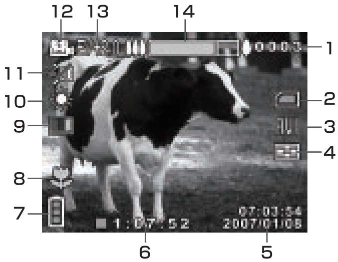
3 ビデオカメラを使う

カメラの使い方を確認します。

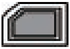
3.1 動画モード

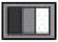
動画モードを使って動画を撮影し、内部メモリまたは SD カードに保存します。

3.1.1　動画モードアイコン



各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。
※ディスプレイボタンを押すことで OSD アイコンの表示内容が切り替わります。（→P8）

1		保存されている動画ファイルの数を表示します
2		メモリステータスアイコン  ：SD カードが挿入されていることを示します アイコン内の緑の部分は、残り保存可能領域の残量を示しています。 ：内部メモリが使用されていることを示します
3		ファイル形式アイコン（→P36）
4		画質アイコン（→P34）
5		日付と時刻
6		残り録画時間

7		バッテリアイコン
8		マクロアイコン（→P23）
9		特殊効果アイコン（→P35）
10		ホワイトバランスアイコン（→P24）
11		LED ライトアイコン
12		動画モードアイコン
13		露出補正 (EV) アイコン（→P24）
14		ズームアイコン（→P23）

3.1.2　マクロ機能を使う (動画)

マクロ機能をオンにする事により、より近い被写体を撮影する事ができます。マクロ機能では、被写体には約 15 ～ 16 cm まで近づけることができます。

動画モード時に、本製品横のマクロスイッチを アイコンに切り替える事で、マクロ機能が有効になります。マクロ機能を有効にすると、 アイコンが LCD 画面に表示されます。

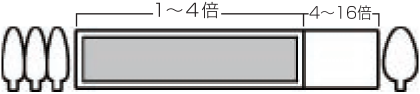
3.1.3　ズーム機能を使う (動画)

本製品には最大 16 倍のデジタルズーム機能が搭載されています。

ズームスイッチを**右に**動かすと被写体を**ズームアップ**します。

ズームスイッチを**左に**動かすと被写体から**ズームアウト**します。

ズームアイコンの見方は以下を参照してください。



3.1.4　LED ライトを使う (動画)

LED ライトを使って暗い場所で被写体を照らします。
スクロールホイールを押す事で オフ、オン、ナイト(夜間)モードの順に切換わります。

下の表でアイコンと記号の意味を説明します。

	オン	前面 LED ライトを点灯します
	オフ	前面 LED ライトを点灯しません
	ナイト (夜間) モード	前面 LED ライトを点灯して、 夜間に適した WB に調整します

3.1.5　露出補正 (EV) (動画)

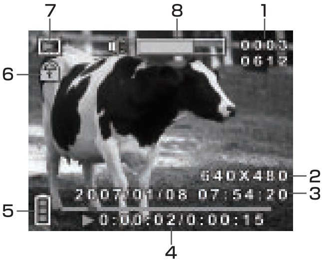
この機能を使って､露出を変更します。逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光があたったときに白く飛んでしまうことがあります。このような時、露出補正 (EV) をします。通常、この値はゼロに設定され、被写体が黒く写っている場合プラス側に、白く飛んでいる時にマイナス側に設定します。

スクロールホイールを上下させることで､-2 EV ～ +2 EV の範囲で EV 値を調整します。

3.2 動画再生モード

動画再生モードを使って、内部メモリまたは SD カードに保存された動画ファイルを再生します。

3.2.1　動画再生モードアイコン



各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

※ディスプレイボタンを押すことで OSD アイコンの表示内容が切り替わります。（→P8）

1		現在の動画ファイルのナンバーと保存されている動画ファイルの総数を表示します
2		動画のサイズを表示します
3		動画の撮影終了時刻
4		経過時間 / 動画の長さを表示します
5		バッテリアイコン
6		ファイル保護アイコン（→P39）
7		再生モードアイコン
8		音量レベル (再生中のみ表示されます)

3.2.2 サムネイル機能 (動画)

動画再生モードで、ズームスイッチを左に押して動画のサムネイルを表示します。

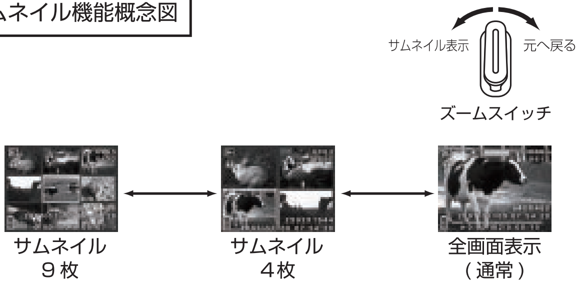
ズームスイッチを左に押して、4 枚の サムネイルを表示します。ズームスイッチをもう一度左に押して、9 枚の サムネイルを 表示します。





スクロールホイールを上下に押して、動画ファイルを選択し、スクロールホイールを押して、全面表示モードで表示します。

サムネイル機能概念図

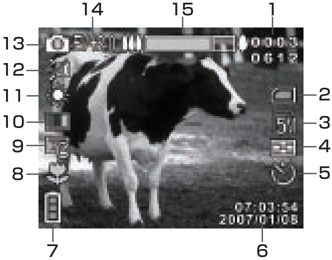


全画面表示の状態からズームスイッチを左に倒すと4枚表示にもう一度倒すと9 枚表示になります。元へ戻すにはズームスイッチを右に倒します。

3.3 静止画モード

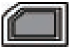
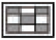
静止画モードを使って写真を撮影し、内部メモリまたは SD カードに保存します。

3.3.1　静止画モードアイコン



各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

※ディスプレイボタンを押すことで OSD アイコンの表示内容が切り替わります。（→P8）

1		撮影した写真の枚数 / 撮影できる残りの写真の枚数を表示します
2		メモリステータスアイコン  ：SD カードが挿入されていることを示します アイコン内の緑の部分は、残り保存可能領域の残量を示しています。 ：内部メモリが使用されていることを示します
3		ファイルサイズアイコン（→P44）
4		写真画質アイコン（→P42）
5		セルフタイマーアイコン（→P7）
6		日付と時刻
7		バッテリアイコン

8		マクロアイコン（→P28）
9		日付プリントアイコン（→P45）
10		特殊効果アイコン（→P43）
11		ホワイトバランスアイコン（→P41）
12		LED ライトアイコン（→P29）
13		静止画モードアイコン
14		露出補正 (EV) アイコン（→P29）
15		ズームアイコン（→P28）

3.3.2　マクロ機能を使う (静止画)

マクロ機能をオンにする事により、より近い被写体を撮影する事ができます。マクロ機能では、被写体には約 15 ～ 16 cm まで近づけることができます。

静止画モード時に、本製品横のマクロスイッチを アイコンに切り替える事で、マクロ機能が有効になります。マクロ機能を有効にすると、アイコンが LCD 画面に表示されます。

3.3.3　ズーム機能を使う (静止画)

本製品には最大 16 倍のデジタルズーム機能が搭載されています。

スクロールホイールを**上に**動かすと被写体を**ズームアップ**します。

スクロールホイールを**下に**動かすと被写体から**ズームアウト**します。

ズームアイコンの見方は以下を参照してください。



3.3.4　LED ライトを使う (静止画)

LED ライトを使って暗い場所で被写体を照らします。
スクロールホイールを押す事で オフ、オン、夜間モードの順に切換わります。

下の表でアイコンと記号の意味を説明します。

	オン	前面 LED ライトを点灯します
	オフ	前面 LED ライトを点灯しません
	ナイト (夜間) モード	前面 LED ライトを点灯して、夜間に適した WB に調整します

3.3.5　露出補正 (EV) (静止画)

この機能を使って､露出を変更します。逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光があたったときに白く飛んでしまうことがあります。このような時、露出補正 (EV) をします。通常、この値はゼロに設定され、被写体が黒く写っている場合プラス側に、白く飛んでいる時にマイナス側に設定します。

スクロールホイールを上下させることで､–2 EV ～ +2 EV の範囲で EV 値を調整します。

3.4 静止画再生モード

静止画再生モードを使って、内部メモリまたは SD カードに保存された静止画ファイルを再生します。

3.4.1　静止画再生モードアイコン



各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

※ディスプレイボタンを押すことで OSD アイコンの表示内容が切り替わります。（→P8）

1	0003 0612	現在の静止画ファイルのナンバーと保存されている静止画ファイルの総数を表示します
2	2592X1944	画像サイズを表示します
3		静止画の撮影時刻
4		バッテリアイコン
5		ファイル保護アイコン（→P48）
6		再生モードアイコン

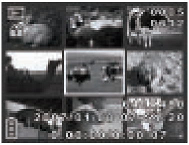
3.4.2　サムネイル / ズーム機能 (静止画)

サムネイル機能

静止画再生モードで、ズームスイッチを左に押すと動画のサムネイルを表示します。

ズームスイッチを左に押して、4 枚の サムネイルを表示します。ズームスイッチをもう一度左に押して、9 枚の サムネイルを表示します。





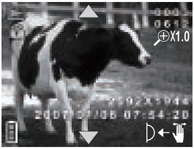
スクロールホイールを上下に押して、動画ファイルを選択し、スクロールホイールを押して、全面表示モードで表示します。

ズーム機能

静止画再生モードで、ズームスイッチを右に押すと拡大再生モードに入ります。

拡大再生モードではズームスイッチで倍率変更、スクロールホイールの上下で表示画面の場所を動かせます。表示画面の移動方向はスクロールホイールを押すことで切換えられます。

録画 / 停止ボタンを押すことで、静止画再生モードに戻ります。



サムネイル / ズーム機能概念図



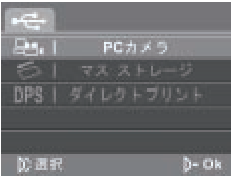
ズームスイッチ

サムネイル 9 枚 ⟷ サムネイル 4枚 ⟷ 全画面表示 (通常) ⟷ 拡大再生モード x 1.0 ⟷ 拡大再生モード (最大) x 16※

※右に倒し続ける事で最大 16 倍までズームインします。

3.5 USB 接続モード

付属の専用 USB/AV ケーブルを使用し、本製品をダイレクトプリント対応プリンタまたはパソコンに接続してください。その後本製品の電源を投入すると下図のようにUSB接続メニューに切換ります。スクロールホイールで項目を選択し、押して決定します。



3.5.1　PC Web カメラ機能を使用する

注意
PC Web カメラとして使用する場合、対応するすべてのオペレーティングシステムでドライバをインストールする必要があります。
詳しくは「**5 ソフトウェアとドライバをインストールする**」（→P60）をご確認ください。

ドライバインストール完了後「パソコン接続の選択画面」でPCカメラを選択すると、テレビ会議等のアプリケーションにてビデオカメラをPC Webカメラとして使用できます。

3.5.2　マスストレージ機能を使用する

「**2.8.1 USB マスストレージ** 」（→P20）を参照してください。

3.5.3　DPS 機能を使用する

DPS（ダイレクトプリント）対応のプリンタ機器等をご使用の場合、**付属の専用USB/AV ケーブル**を使って接続しDPS を選択することにより、本製品から直接、画像をプリントすることが可能になります。

4 メニューを使う

カメラの設定方法および詳細設定機能の使用方法を確認します。

4.1 動画メニュー (動画の設定画面)

動画モードに入っているとき、メニューボタンを押すと動画メニューが表示されます。

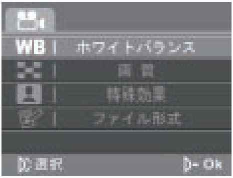
4.1.1　ホワイトバランス (動画)

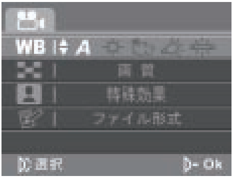
この機能を使って、異なる照明条件の色差を補正します。ホワイトバランスがオートの場合、本製品が各照明条件に対して適切になるよう自動補正を行います。

1. **動画モード**になっていることを確認します。

2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って**ホワイトバランス**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、**オート、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯**から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

この項目は静止画の設定と連動しています。
この設定を変更した場合、静止画メニューでの同項目も変更されます。

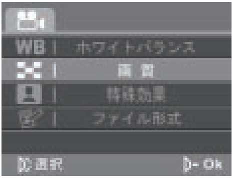
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	オート
	太陽光
	曇り
	白熱灯
	蛍光灯

4.1.2. 画質 (動画)

画質には、ファインと標準の２種類の設定があります。ファインは画像が精細になりますが、より大きなメモリ容量を消費します。

1. **動画モード**になっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って**画質**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**ファイン**または**ノーマル**から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

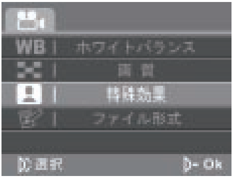
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	ファイン
	ノーマル

4.1.3　特殊効果 (動画)

この機能を使って、撮影する動画の色調をカラー (標準)・モノクロ・セピアに変更します。

1. **動画モード**になっていることを確認します。
2. **メニューボタン**を押し、スクロールホイールを使って**特別効果**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**カラー**、**セピア**、**モノクロ** から選択します。スクロールホイールを押して決定します。

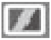
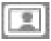
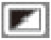




4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

この項目は静止画の設定と連動しています。 この設定を変更した場合、静止画メニューでの同項目も変更されます。

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

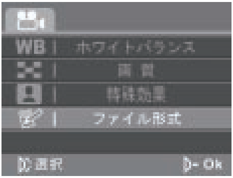
	カラー (標準)
	セピア
	モノクロ

※録画中に特殊効果を変更することはできません。

4.1.4　ファイル形式 (動画)

この機能を使って、撮影したビデオクリップを保存するファイル形式を選択します。ビデオクリップを、AVI 形式、ASF 形式で保存できます。

1. **動画モード**になっていることを確認します。
2. **メニューボタン**を押し、スクロールホイールを使って**ファイル形式**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**AVI、ASF** から選択します。スクロールホイールを押して確定します。





4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

注意

このビデオカメラは MPEG4 ビデオファイル形式をサポートします。コンピュータでファイルを再生する際には、正しいソフトウェアを使っていることを確認してください :

AVI: ソフトウェア CD に含まれている XviD コーデックをインストールします。

ASF: Window Media player 9.0 以上を推奨します。

4.2 動画再生メニュー

動画再生メニューを使って、内部メモリまたは SD カードに保存した動画ファイルを管理します。

> **注意**
> 消去されたファイルは、回復することができません。SD カードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送されることをお勧め致します。また、保護されたファイルは、消去されません。消去する前に、まずファイルの保護を取消しする必要があります。

4.2.1　消去 (動画)

この機能を使って、保存されている動画ファイル (保護されているファイルを除く) を消去します。

1. **動画モード**になっていることを確認します。再生ボタンを押し、次にメニューボタンを押して動画再生メニューを表示します。

2. スクロールホイールを使って、消去オプションを選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、**キャンセル、1 ファイル消去、全ファイル消去**から選択します。 スクロールホイールを押して決定します。





１ファイル消去

スクリーンに画像が表示されます。スクロールホイールを使って消去するファイルを選択し、スクロールホイールを押してサブメニューを表示します。スクロールホイールを使って**OK**または**キャンセル**を選択し、スクロールホイールを押して消去を決定します。





全ファイル消去

スクロールホイールを使って OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して消去します。





各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	キャンセル
	OK
	１ファイル消去
	全ファイル消去

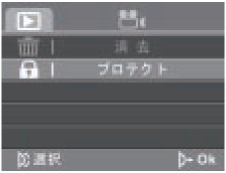
4.2.2 プロテクト(動画)

この機能を使ってファイルを保護し、間違って消去することを防ぎます。

1. **動画モード**になっていることを確認します。再生ボタンを押し、次にメニューボタンを押して動画再生メニューを表示します。

2. スクロールホイールを使って、**プロテクト**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、**キャンセル、1ファイル保護、全ファイル保護**から選択します。 スクロールホイールを押して決定します。

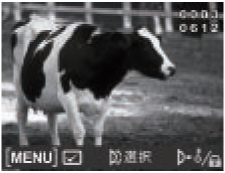




1ファイル保護

スクリーンに画像が表示されます。スクロールホイールを使って保護するファイルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。ファイルが保護されたことを示すファイル保護 アイコンが表示されます。





注意

ファイルの保護を取り消すには、上記のステップを繰り返します。
ファイルの保護が取り消されると、ファイル保護アイコンが消えます

全ファイル保護

3 つの項目が表示されます。スクロールホイールを使って **キャンセル、全ファイル保護**または**全保護取消し**を選択します。





キャンセル

すべて保護のサブメニューをキャンセルします

全ファイル保護

保存されている動画ファイルすべてを保護します

全保護取消し

保存されているすべての動画ファイルの保護を取り消します。ファイルの保護が取り消されると、ファイル保護アイコン  が消えます

4. メニューボタンを押してメニューを終了します。

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	キャンセル
	1ファイル保護
	全ファイル保護
	全保護取消し

4.3 静止画メニュー (静止画の設定画面)

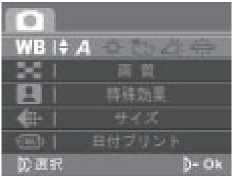
静止画モードに入っているとき、メニューボタンを押すと静止画メニューが表示されます。

4.3.1　ホワイトバランス (静止画)

この機能を使って、異なる照明条件の色差を補正します。ホワイトバランスがオートの場合、本製品が各照明条件に対して適切になるよう自動補正を行います。

1. **静止画モード**になっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って**ホワイトバランス**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**オート、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯**から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

> この項目は動画の設定と連動しています。
> この設定を変更した場合、動画メニューでの同項目も変更されます。

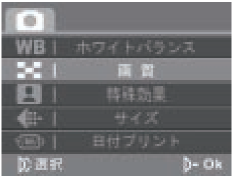
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

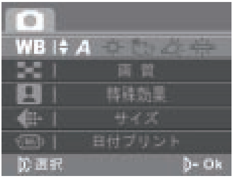
	オート
	太陽光
	曇り
	白熱灯
	蛍光灯

4.3.2. 画質 (静止画)

画質には、ファインと標準の２種類の設定があります。ファインは画像が精細になりますが、より大きなメモリ容量を消費します。

1. **静止画モード**になっていることを確認します。
2. メニューボタンを押し、スクロールホイールを使って**画質**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**ファイン**または**ノーマル**から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

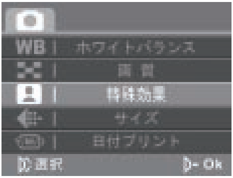
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

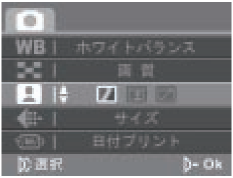
	ファイン
	ノーマル

4.3.3 特殊効果 (静止画)

この機能を使って、撮影する動画の色調をカラー (標準)・モノクロ・セピアに変更します。

1. **静止画モード**になっていることを確認します。
2. **メニューボタン**を押し、スクロールホイールを使って**特殊効果**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**カラー**、**セピア**、**モノクロ** から選択します。スクロールホイールを押して決定します。

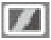
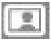
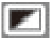




4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

> この項目は動画の設定と連動しています。
> この設定を変更した場合、動画メニューでの同項目も変更されます。

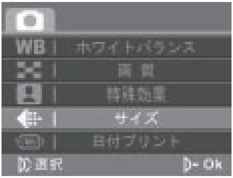
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

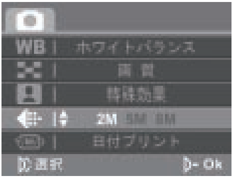
	カラー (標準)
	セピア
	モノクロ

4.3.4　サイズ（静止画）

この機能を使って、静止画のサイズを設定します。サイズが大きいほど精細になりますが、より大きなメモリ容量を消費します。

1. **静止画モード**になっていることを確認します。
2. **メニューボタン**を押し、スクロールホイールを使って**サイズ**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**2M**、**5M**、**8M** から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

静止画の撮影サイズについて

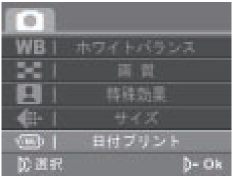
2M	2メガピクセル	=	1600x1200
5M	5メガピクセル	=	2592x1944
8M	8メガピクセル	=	3264x2448※

※内部ソフトウェア処理により実現しています。

4.3.5 日付プリント

この機能を使って、撮影する静止画の右下に、日付を挿入することができます

1. **静止画モード**になっていることを確認します。
2. **メニューボタン**を押し、スクロールホイールを使って**日付プリント**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って **OK、キャンセル**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

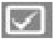




4. **メニューボタン**を押して、メニューを終了します。

> **注意**
> 過去に撮影した静止画に後から日付を挿入することは出来ません。

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	OK (日付をプリントする)
	キャンセル (日付をプリントしない)

4.4 静止画再生メニュー

静止画再生メニューを使って、内部メモリまたは SD カードに保存した動画ファイルを管理します。

> **注意**
> 消去されたファイルは、回復することができません。SD カードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送されることをお勧め致します。また、保護されたファイルは、消去されません。消去する前に、まずファイルの保護を取消しする必要があります。

4.4.1　消去 (静止画)

この機能を使って、保存されている静止画ファイル (保護されているファイルを除く) をすべて消去します。

1. **静止画モード**になっていることを確認します。再生ボタンを押し、次にメニューボタンを押して静止画再生メニューを表示します。

2. スクロールホイールを使って、**消去**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、**キャンセル**、**1 ファイル消去**、**全ファイル消去**から選択します。 スクロールホイールを押して決定します。





1ファイル消去

スクリーンに画像が表示されます。スクロールホイールを使って消去するファイルを選択し、スクロールホイールを押してサブメニューを表示します。スクロールホイールを使って**OK**または**キャンセル**を選択し、スクロールホイールを押して消去を決定します。





全ファイル消去

スクロールホイールを使って OK またはキャンセルを選択し、スクロールホイールを押して消去します。





各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	キャンセル
	OK
	1ファイル消去
	全ファイル消去

4.4.2 プロテクト (静止画)

この機能を使ってファイルを保護し、間違って消去することを防ぎます。

1. **静止画モード**になっていることを確認します。再生ボタンを押し、次にメニューボタンを押して静止画再生メニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って、**プロテクト**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**キャンセル、1 ファイル保護、全ファイル保護**から選択します。スクロールホイールを押して決定します。

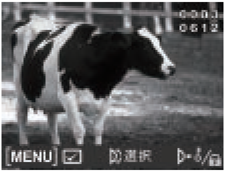




1 ファイル保護

スクリーンに画像が表示されます。スクロールホイールを使って保護するファイルを選択し、スクロールホイールを押して決定します。ファイルが保護されたことを示すファイル保護 アイコンが表示されます。





注意

ファイルの保護を取り消すには、上記のステップを繰り返します。
ファイルの保護が取り消されると、ファイル保護アイコンが消えます

全ファイル保護

3 つの項目が表示されます。スクロールホイールを使って **キャンセル、全ファイル保護**または**全保護取消し**を選択します。





キャンセル

すべて保護のサブメニューをキャンセルします

全ファイル保護

保存されている静止画ファイルすべてを保護します

全保護取消し

保存されているすべての静止画ファイルの保護を取り消します。ファイルの保護が取り消されると、ファイル保護アイコンが消えます

4. メニューボタンを押してメニューを終了します。

各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	キャンセル
	1ファイル保護
	全ファイル保護
	全保護取消し

4.4.3　自動再生

この機能を使って、保存されている静止画を一定の間隔で順番に表示します。

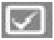
1. **静止画モード**になっていることを確認します。**再生ボタン**を押し、メニューボタンを押して**静止画再生メニュー**を表示します。
2. スクロールホイールを使って**自動再生**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って **OK** または**キャンセル**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。





4. 静止画が 1 枚ずつ表示されます。**スクロールホイール**を押すと、スライドショーが終了します。



	OK
	キャンセル

4.4.4 DPOF

DPOF (Digital Print Order Format) 機能を使って、プリントしたい写真、プリント枚数の情報を SD カードに書き込むことができます。

1. **静止画モード**になっていることを確認します。**再生ボタン**を押し、メニューボタンを押して静止画再生メニューを表示します。
2. スクロールホイールを使って **DPOF** を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、キャンセル、単一プリント、すべてプリントから選択し、スクロールホイールを内向きに押して確定します。





単一プリント

最新の写真がスクリーンに表示されます。ズームボタンを左右に押して印刷する枚数を選択し、スクロールホイールを押して決定します。スクロールホイールを上下に押してその他の写真を選択します。各写真は最大 9 枚まで印刷できます。



すべてプリント

3 つの項目が表示されます。スクロールホイールを使って **キャンセル**、**全指定**または**リセット**を選択します。





キャンセル

すべて保護のサブメニューをキャンセルします

全指定

選択するとすべての画像を 1 枚ずつ印刷します

リセット

選択すると DPOF の設定をリセットします

4. メニューボタンをもう一度押してメニューを終了します。

注意

DPOF 機能を使用するには、SD カードが必要です。

	キャンセル
	単一プリント
	全指定
	リセット

4.5 システム設定メニュー

システム設定メニューを使って、さまざまなカメラの機能を設定します。

4.5.1　言語

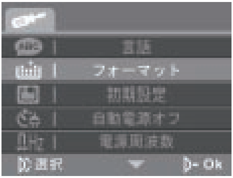
「**2.5.2　言語を設定する**」（→P14）を参照してください。

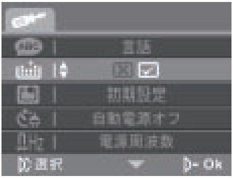
4.5.2　フォーマット

この機能を使って、SD カードまたは内部メモリを初期化します。このフォーマット動作によって、SD カードまたは内部メモリに記録されているすべてのデータが消去されます（保護されているファイルも消去されます）。

SD カードが挿入されている場合は SD カードを、されていない場合は内部メモリを初期化します。

1. **システム設定モード**に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、**フォーマット**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**OK** または**キャンセル**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。





4. OK を選択、決定した場合、すべてのファイルが消去され、初期化されます。

> **注意**
> 初期化されたデータは、回復することができません。また、フォーマットを行うと保護をかけたファイルも消去されますのでご注意ください。SD カードや本製品内の保存されたデータを不用意な消去などから守る為、こまめにパソコン等に転送されることをお勧め致します。

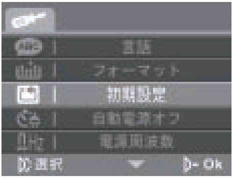
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	OK
	キャンセル

4.5.3　初期設定

この機能を使って、すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

1. **システム設定モード**に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、**初期設定**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**OK** または**キャンセル**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。
   初期設定を行っても、**日付 / 時刻の項目は保持されます。**





各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

	OK
	キャンセル

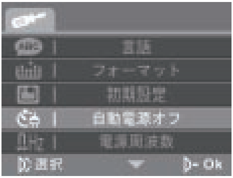
4.5.4　自動電源オフ

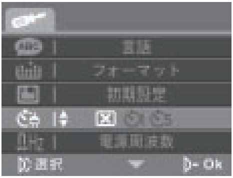
この機能を使って一定の時間操作が行われなかった場合、自動的に電源をオフにして節電することができます。

1. **システム設定モード**に切換えます。

2. スクロールホイールを使って、**自動電源オフ**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、**オフ、1 分、5 分**から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





4.5.5　周波数

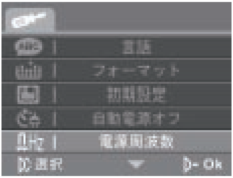
この機能を使って、電源周波数の設定を変更することができます。

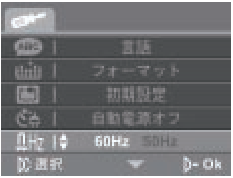
室内の蛍光灯下で撮影するときの画面のちらつき（フリッカー）をおさえるための補正方法を選択します。

1. **システム設定モード**に切換えます。

2. スクロールホイールを使って、**周波数**選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。

3. スクロールホイールを使って、**60 Hz** または **50 Hz** から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





設定（50Hz）：	電源周波数が 50Hz の場合の補正をします。 主に東日本の電源周波数は、50Hz です。
設定（60Hz）：	電源周波数が 60Hz の場合の補正をします。 西日本の電源周波数は、60Hz です。

詳細は管轄の電力会社へお問い合わせください。

4.5.6　TV 出力方式

> **注意**
> 通常日本国内での使用時は NTSC になります。
> 日本国外においてのご使用はサポートの範囲外となります。

この機能を使って、地域の TV システムを設定します。

1. **システム設定モード**に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、**TV 出力方式**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って、**NTSC** または **PAL** から選択します。スクロールホイールを押して決定します。





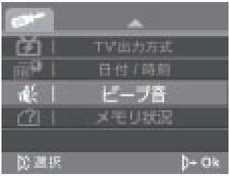
TV との接続については「**2.9 TV に接続する**」（→P21）を参照してください。

4.5.7　日付 / 時刻

「**2.5.1 日付と時刻の設定**」（→P13）を参照してください。

4.5.8　ビープ音

1. **システム設定モード**に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、**ビープ音**を選択します。スクロールホイールを押して、サブメニューを表示します。
3. スクロールホイールを使って **OK** または**キャンセル**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。





> ビープ音とはスクロールホイール等を使った時の動作確認音のことです。

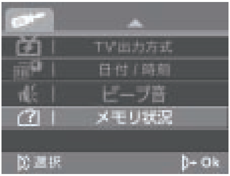
各アイコンと記号の説明は、下表を参照してください。

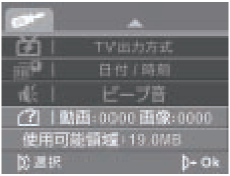
	OK (ビープ音を鳴らします)
	キャンセル (ビープ音を鳴らしません)

4.5.9　メモリ状況

この機能を使って、メモリの使用可能領域と保存されている動画ファイル、静止画ファイルの数を表示します。
SD カードが挿入されている場合は SD カードに保存されているファイルを、されていない場合は内部メモリに保存されているファイルを表示します。

1. **システム設定モード**に切換えます。
2. スクロールホイールを使って、**メモリ状況**を選択します。スクロールホイールを押して決定します。
3. 保存されているファイル数とメモリの使用可能領域が、画面に表示されます。スクロールホイールをもう一度押して終了します。





5 ソフトウェアとドライバをインストールする

本製品のドライバとソフトウェアのインストール方法を確認します。

5.1 PC Web カメラ

> **注意**
> すべてのWindowsオペレーティングシステム(Windows XP(SP2)/2000(SP4)/Vista 32bit版)でビデオカメラをPC Webカメラとして使うには、ドライバをインストールする必要があります。

ビデオカメラは、PC Web カメラとして使うことができます。
以下の指示に従ってドライバをインストールしてください。



1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
2. CD-ROM を挿入すると自動的に以下の画面が表示されます。
3. ［**インストール**］ボタンをクリックして、ドライバをインストールします。
4. 画面上の指示に従います。

5. [**終了**] をクリックしてコンピュータを再起動し、カメラドライバのインストールを終了します。

注意

OSによっては、インストール完了後に再起動を要求される場合があります。その場合は、画面の指示通りにコンピュータの再起動を行った後に本製品をコンピュータのUSBポートに接続して下さい。

6. ドライバインストールが正常に完了したコンピュータにビデオカメラを接続し LCD モニタ上にて PC カメラを選択し、認識完了後、「システムのプロパティ」から「デバイスマネージャ」を開き、「イメージングデバイス」カテゴリ内に「**Dual Mode Digital Camera**」「**Dual mode Video Camera**」が認識していることを確認してください。認識できていれば、本製品はお使いの環境にて正常に認識されています。

CD-ROMが自動起動しない場合

付属CD-ROMをドライブに挿入後、自動的に起動しない場合はエクスプローラ等により付属CD-ROMを開き「InstallMgr.exe」をダブルクリックして起動します。

5.2　Presto ! Video Works

Presto! Video Works は、動画を編集するソフトウェアです。

Presto! Video Works をインストールします。

1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
2. CD-ROM を挿入すると自動的に以下の画面が表示されます



インストールボタン

3. ［**インストール**］ボタンをクリックして、インストールを開始し、画面上の指示に従います。

Presto! Video Works についての詳細は、アプリケーション内のヘルプファイルをご覧ください。

5.3 Presto! Mr. Photo

Presto! Mr. Photo は、写真管理ソフトウェアです。

Presto! Mr. Photo をインストールします。

1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
2. CD-ROM を挿入すると自動的に以下の画面が表示されます



3. ［**インストール**］ボタンをクリックして、インストールを開始し、画面上の指示に従います。

Presto! Mr. Photo についての詳細は、アプリケーション内のヘルプファイルをご覧ください。

5.4　Xvid コーデックのインストール

本製品は動画撮影のファイル形式として AVI 形式と ASF 形式を選択することが出来ます。
AVI 形式で撮影された動画ファイルについては、Xvid コーデックをお使いのパソコンにインストールして頂くことにより、Windows Media Player で再生することが可能になります。
Xvid コーデックをインストールします。

1. CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
2. CD-ROM を挿入すると自動的に以下の画面が表示されます



3. ［**インストール**］クリックして、インストールを開始し、画面上の指示に従います。

5.5　付属ソフトウェアについて

すべての付属アプリケーションについて、弊社ではサポートを行っておりませんので、あらかじめご了承願います。

Presto！Video Works、Presto！Mr. Photo についてのお問い合わせにつきましては下記お問い合わせ先にお願い申し上げます。

NewSoft Japan Corp.
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

付録

製品仕様

画像素子	1/2.5 型 CMOS 撮像素子 5.17 メガピクセル
有効画素	500 万画素
記録メディア	SD メモリーカード [32MB ～ 2GB]
内蔵メモリ	32MBフラッシュメモリ (システムで13MB占有)
レンズ	固定フォーカスレンズ F/3.1(f=7.5mm) 35mm 換算 45.5mm
フォーカス範囲	標準 : 1.5m ～ 無限 マクロ : 17 ～ 18cm
静止画	記録方式：JPEG (DPOF、EXIF) 記録画素数 : 2MP（1600×1200） 5MP（2592×1944） 8MP（3264×2448 画像補正） 画質 : ファイン、標準
動画記録方式	AVI(Xvid)、ASF
動画サイズ	VGA(640 x 480) フレームレート : 30 fps (最大)
ズーム	16 倍デジタルズーム
液晶モニタ	3.0 型カラーワイド液晶 (960 x 240)
LED ライト	有効距離 : 50cm ～ 80cm モード : オフ / オン / ナイトモード
ホワイトバランス	オート / 太陽光 / 曇 / 白熱灯 / 蛍光灯

露出補正 (EV)	−2.0 EV ～+2.0 EV
セルフタイマー	オフ /5 秒 /10 秒
搭載端子	映像、音声、USB 共用端子 (USB2.0)
信号方式	NTSC/PAL
シャッター速度	4 ～ 1/1000 秒 (自動)
自動電源オフ	オフ /1 分 /5 分
電源	単 4 形乾電池 4 本
外形寸法	W44×D111×H68 (mm)
本体質量	約227g
使用時質量	約280g(バッテリ:約50g、メモリ:約2g)

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決法
カメラの電源が入らない	電池が正しく装着されていません	電池を正しく装着してください (「2.2 電池の装着」を参照)
	電池の残量がありません	電池を交換してください
カメラの電源が突然オフになる	自動電源オフ機能が有効になっています	電源を再びオンにしてください
	電池の残量が少なくなっています	電池を交換してください
撮影した画像がメモリに保存されない	画像を保存する前に、電源がオフになりました	バッテリアイコンが赤になったら、直ちに電池を交換してください
セルフタイマーを使って撮影しているとき、カメラの電源がオフになる	カメラの電池の残量が少なくなっています	電池を交換してください
画像のピントが合わない	被写体がフォーカス範囲から外れています	被写体との距離が適切ではありません。 被写体との距離にあわせて標準またはマクロモードを選択してください (「3.3.2 マクロ機能を使う」を参照)
SDカードを使用できない	SDカードが保護されています	SDカードのプロテクトスイッチを解除してください
	メモリカードに他のカメラで撮影された非DCF画像が含まれています	本製品でSDカードをフォーマットしてください。(「4.6.3フォーマット」（→P53）を参照) SDカードをフォーマットする前に、ファイルのバックアップを取っていることをおすすめします
すべてのボタンが無効になっている	カメラを他のデバイスに接続しているとき、ショートしました	カメラから電池を取り外し、再び装着してください
AVI 形式で録画した動画がパソコンで見れない	Xvid コーデックがインストールされていません	付属の CD-ROM から Xvid コーデックをインストールしてください（「5.4 Xvid コーデックのインストール」（→P64）参照）

故障・修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　カスタマサポート
URL	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-5749
受付時間	10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 （年末年始、土・日・祝祭日を除く弊社営業日のみ。）
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒153-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル４階

カスタマサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合がございます。ご確認はホームページにてお願い致します。

サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。

ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。

（http://www.green-house.co.jp/support/index.html）

◆本書の内容の一部又は全部を無断転載することは固くお断り致します。

◆本書の内容については将来予告なしに変更することがございます。

◆本書に記載した会社名・商品名は、各社の商標又は登録商標です。

◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気付きの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

GAUDI

GHV-DV30SDS

GREEN HOUSE 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4F
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0